

平成19年(昭和82年)6月12日(火)

東海の古代

第84号 編集・発行 古田史学の会・東海

代表 林 俊彦 〒461-0025 名古屋市東区徳川1-729

ホームページ: (「古田史学」で検索しても見つかります)

<http://geocities.jp/furutashigaku-tokai>

メール: frrttokai@zm.commufa.jp

電話/FAX(カラー可) 052(936)5012

郵便振替 00870-5-30752

ついに真打登場

古田先生の直接編集による雑誌「なかつた 真実の歴史学 第三号」が出版されました。何よりも、ついに出現した東日流外・内三郡誌の寛政原本がさっそく特集されているのがうれしいことです。ミネルヴァ書房刊、定価2,200円+税。ぜひ最寄の書店でお求め下さい。なお寛政原本(五種)はオン・ブックス社より全コロタイプ版が7月以降順次出版されるそうです。これも楽しみです。三号の見出しを紹介しておきます。

○序言

特集「東日流外・内三郡誌」寛政原本の出現

○秋田孝季論……古田武彦

○悪霊に取り憑かれた暗黒の村——『東日流外三郡誌』についての回想……西村俊一

講演 大田覚眠と「トマスによる福音書」第二回……古田武彦

連載

○古田による古代通史 第三回……古田武彦

○敵祭——松本清張さんへの書簡 第三回……古田武彦

○中言

論稿・エッセイ

○現存する二倍年曆——インドネシア(バドイ)からの報告……香川正

○「万葉集」防人歌を問う……上条誠

○謎の寺、法隆寺……新庄智恵子

○円仁の見た開元寺奉納壁画——奉納者名簿の検討……吉田堯躬

書評

○田口利明『九州王朝と日本の古代』を読む……古田武彦

○松本郁子『太田覚眠と日露交流』を読む……古田武彦

連載

○渡嶋と肅慎——渡嶋は北海道ではない 第一回……合田洋一

○神武がきた道 第二回……伊東義彰

○太陽の娘ヒミカ「第2話 挿話 火の池の話」……古田武彦監修・深津栄美作・おおばせつお画

○ちくしの女王「ヒミカ」第三回……酒井紀年

○オロチ語——簡約ロシア語=オロチ語辞典 第三回……松本郁子

○末言

7月例会に参加を

日程: 7月8日(日)午後1時~4時半

場所: 名古屋市公会堂第2集会室(2階)

名古屋市昭和区鶴舞1丁目1-3

地下鉄鶴舞線「鶴舞」下車4番出口徒歩2分

JR中央本線「鶴舞」下車公園出口徒歩2分

参加費: 500円(維持会員は無料)

今後の予定

8月例会: お盆で休み(日帰り旅行を予定)

9月例会: 9月9日(日)

例会は原則として毎月第2日曜日です。次回は久し振りに会場は市公会堂です。開始・終了時刻も違います。お間違えのないように、よく確認してからお出かけください。

古田先生とその学問に興味のある方ならどなたの参加も歓迎します。また参加に際し事前連絡は不要です。遅刻早退もかまいません。

例会の場での研究報告、見解発表は大歓迎です。資料を配布される場合はなるべく16部用意願います。

なお8月は岐阜方面の史跡・遺跡等の見学が提案されています。